

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 599 事業名 消防活動に関する教育訓練指導

[事業基本情報]

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
取組	2	常備消防力の強化

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		消防費
	項		消防費
	目		消防費
	大事業		消防事業
事項		消防活動に関する教育訓練指導	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	警防課	大浦 正男 (428-0119)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実	○	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
事業概要	火災現場、救助現場等の災害現場における人的・物的被害を最小限に抑えるため、各署の警防隊及び救助隊が自ら、あるいは消防局が主催する訓練を実施することにより、警防隊及び救助隊の現場活動能力を高めるために行うもの。 1 基礎練成訓練の実施 災害現場に備え警防活動隊員の基礎体力を増進する。 2 基礎技術訓練の実施 火災防御活動、救助活動に使用する資機材の取扱訓練 消防車両、資機材の運用訓練 救助技術訓練の実施及び救助技術訓練大会の参加 3 実地訓練の実施 防災訓練等現場を想定した応用訓練を実施 出初式等の大隊による放水訓練を実施 各署の警防隊・救助隊に対して、現場想定した活動訓練を実施				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	基礎練成訓練 5,400回 基礎技術訓練 3,174回 実地訓練 689回	基礎練成訓練 5,075回 基礎技術訓練 3,014回 実地訓練 719回	基礎練成訓練 4,989回 基礎技術訓練 3,308回 実地訓練 707回		

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	2,167	2,042	2,428	2,287	2,256	2,004	2,118	2,118	2,118	2,118
	伸び率 (%)	-	-	12.0%		-7.1%		-6.1%		0.0%	
	人件費	常勤職員	19,158	19,253	24,294	22,832	22,849	22,663	20,547		20,547
		非常勤職員	53								
	小計	19,211	19,253	24,294	22,832	22,849	22,663	20,547		20,547	
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源 (税等)	2,167	2,042	2,428	2,287	2,395	2,004	2,118		2,118		
所要人数	常勤職員	1.67	2.51	3.17	3.02	3.03	3	2.72		2.72	
	非常勤職員	0.04									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	消防活動に関する教育訓練回数					年度目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
						実績値	9,263	8,808	9,004		
	単位	回	全体目標値	9,000	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	102.9%	97.9%	100.0%	
						年度目標値					
						実績値					
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度					
成果指標	消防活動に関する教育訓練実施者数					年度目標値	41000	41000	41000	41000	41000
						実績値	42506	42902	40686		
	単位	人	全体目標値	41000	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	103.7%	104.6%	99.2%	
						年度目標値					
						実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	A
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	複雑多様化・大規模化する災害に対し、市民の人命・財産を守るための現場出動である。現場活動隊員が災害現場で、安全確保を図り、適切な消防活動を行うためである。 教育訓練は市民の安全安心を守るため、短期的・長期的な目標設定を行う必要がある。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	